

アスパラガス 5月指導会補足資料

令和6年5月23日、24日

東北地方 1か月予報(05/18~06/17)		
2024年05月16日 14時30分 仙台管区气象台 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 05/18~06/17	天候	天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率70%です。
	日照時間	日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。
1週目 05/18~05/24	気温	1週目は、高い確率80%です。
2週目 05/25~05/31	気温	2週目は、高い確率70%です。
3~4週目 06/01~06/14	気温	3~4週目は、高い確率50%です。

立茎開始時は薬剤防除の徹底をお願い致します。

立茎開始の下準備として、収穫終了後は圃場内のアスパラガスを長さ・太さ関係なく全て刈り取り

除草剤（センコル水和剤）を土壌散布し除草対策を行いましょう。

その後、一斉立茎を行い萌芽初期からの薬剤防除を徹底しまししょう→



1. 立茎に選ぶ茎について

立茎に選ぶ茎は電池でいえば単三電池から単四電池、病斑の無い物、曲がりの無い物を選ぶ事



病斑のある茎は他の健全な茎にも悪影響を及ぼす。収穫し病斑のない茎を立てること、また、防除前に降雨にさらされた茎も病害感染の疑いがある為、同様に収穫しておくこと



曲がりのある茎は伸びが遅く養分も多く消費する為、早急に刈り取り次の萌芽を促すこと

・夏肥について

立茎初期は栄養を大量に消費する為、肥料を散布しましょう。

アスパラガス専用肥料 10aあたり 60kg てんろ石灰 10aあたり 120kg (基準)

てんろ石灰の量は土壌診断の結果に合わせて調整・散布する。

立茎栽培中 異常茎が発生する場合 野菜ごんまい 10aあたり 75kg を散布する

・立茎期間中の追肥について (6月~8月下旬まで)

立茎にも栄養を多量に必要とする為、足りない栄養を補給してあげましょう。

アスパラガス専用肥料 10aあたり 20kg or 野菜肥料S535 10aあたり 20kg

土壌診断でリン酸・カリが過剰な圃場の場合

硫安 10aあたり 14kg or 尿素 10aあたり 7kg

上記の何れかを使用しましょう。また、**使用量は1か月分の量**となります。2~3回に分けて追肥しましょう。

これを8月下旬まで続けましょう。尿素を均一に散布が難しい場合は硫安を使用しましょう。

・害虫の発生について



カスミカメムシ類



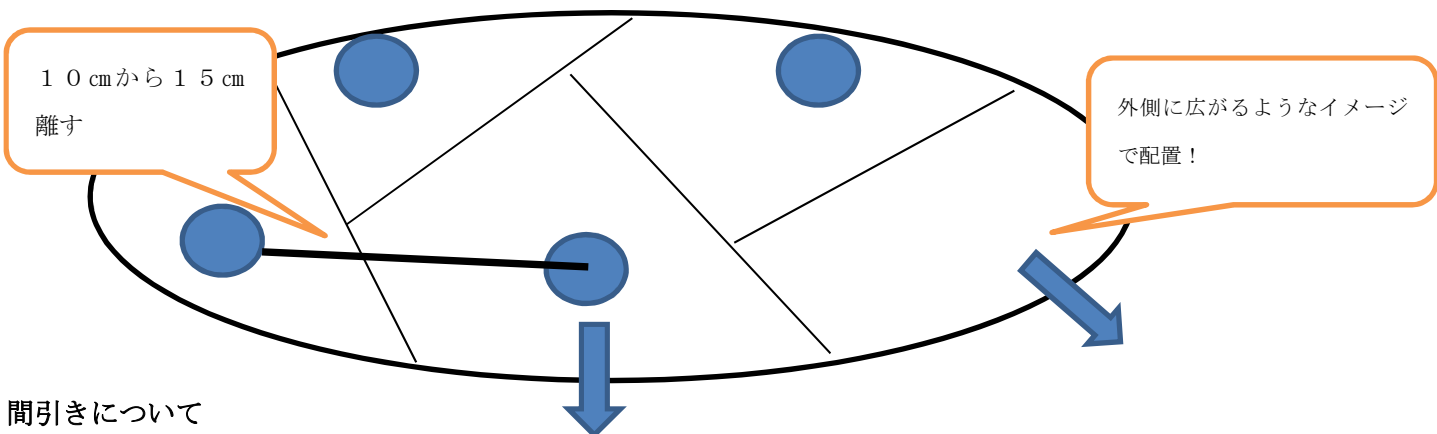
アザミウマ類

出荷物アスパラガスの穂先をはたき落として確認し殺虫剤を定期的に散布しましょう。

・茎の配置について

茎と茎の間は10cm~15cmほど (こぶしが一つ入る程度) 間隔が取れない場合はなるべく距離を離す。

アスパラガスは複数の株の集合体、一つ一つの株に茎を一本立てるイメージで、**長期どりに取り組む人は5本から6本**、それ以外の茎は収穫する**春どりで終える人は8本~12本を立てる**。その後本数管理の為調整収穫する。



・間引きについて

春どりのみで終了する方は、立茎本数の管理として余分な茎を1週間に1回間引いて下さい。**茎枯病の抑制に効果があります。**

・フラワーネットの消毒について

同じフラワーネットを毎年使用すると、病害菌が潜伏する可能性がある為、**設置する前に消毒**をお願い致します。

・使用農薬 「ケミクロンG」 ・倍率 1000倍 ・使用方法 10分間浸液